

2022年2月9日
損害保険ジャパン株式会社

小松市との『防災力向上にかかる相互協力に関する協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、小松市（市長：宮橋 勝栄）と『防災力向上にかかる相互協力に関する協定』を2月9日に締結したことをお知らせいたします。

1. 背景・経緯

- ・小松市は、市民の安全な暮らしを守るため、大規模な洪水や地震など、万一の災害を想定した対策の強化を図り、持続可能なまちづくりを目指しています。
- ・損保ジャパンは、お客さまの安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、防災・減災、災害時の対応力、地域と産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを生かし、サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、小松市に相互協力に関する協定について提案を実施し、このたびの協定締結に至ったものです。

2. 協定の目的

損保ジャパンと小松市は、災害時に当社代理店および取引先が「災害時支援ステーション」として被災者を受け入れる態勢を整えるほか、日頃の防災活動への協力、災害時の救急活動時のドローン活用支援や、円滑な避難体制構築支援を行うことなど相互に協力し、地域の安心・安全をサポートしていくことで、地域に貢献してまいります。

3. 協定の主な内容

- （1）災害時および救急活動時におけるドローンによる情報収集に関すること
- （2）災害時支援内容に関すること（災害時支援ステーション設営など）
- （3）防災セミナー、防災訓練その他の地域防災イベントに関すること
- （4）市民や企業への防災意識の啓発及び防災知識の普及に関すること
- （5）その他防災・減災および災害対応における相互協力に関すること

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も小松市と連携を一層深め、安心・安全な地域づくりに関する必要な対応を実施していきます。

以上